

授業科目名： 聴覚障害教育指導法Ⅰ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 宍戸 和成 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	特別支援教育に関する科目(特別支援)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	特別支援 領域に関する科目		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 特別支援教育においては、それぞれの障害や個人の実態等に応じた指導がより一層重視されている。本授業では、聴覚障害の特性、聴覚障害のある子どもの発達や教育システムについて学習することをねらいとする。本授業の受講によって、聴覚障害教育に関するより専門的な内容を理解しようとする意欲の喚起が期待される。学生には、この教育に関する基礎的・基本的な知識に加え、聴覚障害児の自立を促すための教育や支援について、その現状や課題に対する関心を高め、この教育を主体的に学ばせたい。 【到達目標】 ①聴覚障害教育に関心をもつこと ②聴覚障害教育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けること			
授業の概要 本授業では、聴覚障害とはどのような障害かという点について、聞こえの状態、発達上の特徴や課題について学ぶとともに、聴覚障害特別支援学校(聾学校)や難聴特別支援学級、通級指導教室(聞こえの教室)といった各教育機関の役割や教育・指導上の特徴について、講義を通じて学習する。また、教育課程における自立活動や教科指導等を中心に、その教育理念や方法を巡る今日的課題についても学習する。			
授業計画 第1回 聴覚障害とは ー音の特性と聞こえの仕組みー 第2回 聴覚障害とは ー聞こえにくさの要因とその特徴ー 第3回 聴覚障害とは ー発達段階に応じた聞こえにくさの影響ー 第4回 聴覚障害教育の歴史と理念① ー聾学校の役割と教育内容ー 第5回 聴覚障害教育の歴史と理念② ー特別支援学級(特殊学級)と通級による指導ー 第6回 児童福祉施設と聾学校等との連携協力 ー乳幼児期と学童期ー 第7回 聴覚障害教育における教育課程の意義と方法 ー学習指導要領等の変遷と現状ー 第8回 聴覚障害の子どもの発達課題と指導・支援 ー認知・知的発達と支援ー 第9回 聴覚障害の子どもの発達課題と指導・支援 ー言語・コミュニケーションの発達と支援ー 第10回 聴覚障害の子どもの発達課題と指導・支援 ー読み書き能力の発達と支援ー 第11回 聴覚障害の子どもの発達課題と指導・支援 ー対人関係・社会性の発達と支援ー 第12回 聴覚障害の子どもへの早期からの教育的対応 第13回 聴覚障害の子どもへの後期中等教育 ー情報保障と社会自立ー 第14回 聴覚障害教育とインクルーシブ教育システム 第15回 聴覚障害教育における今日的課題 ー特に、指導法の探求をー 定期試験			
スクーリングでの学修 スクーリング(オンデマンド)では、第7回から第11回の内容を包括的に扱うとともに、第12回から第15回の要点を概説する。			
テキスト ①宍戸和成/原田公人/庄司美千代【編】(2023) 「聴覚障害教育の基本と実践」慶應義塾大学出版会 978-4-7664-2862-9 ②宍戸和成 (2023) 「子どもから学び、子どもに返す」ジアース教育新社 978-4-86371-662-9			
参考書・参考資料等 日本音響学会編 「音のなんでも小事典」講談社 978-4-06257-1500 四日市 章 編著 「リテラシーと聴覚障害」コレール社 978-4-87637-7114			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			